

市民検討委員会施設機能ワーキング検討の取りまとめ



◎ 大ホール

- 多目的型
- ・プロセニウム形式の舞台
- ・1,000～1,200席の固定客席(一部可動)
- ・複層バルコニー席
- ・舞台からの視距離に配慮
- ・可動式音響反射板
- ・充実した舞台設備

◎ 第1小ホール: 固定席(200～300席)

多目的型

- ・プロセニウム形式の舞台
- ・可動音響反射板
- ・音楽重心型／演劇重心型(残響長め)(舞台設備充実)

OR

音楽専用型

- ・ワンボックス型(フライロフト無)
- ・音響重視(生音の響き重視)

OR

演劇専用型

- ・プロセニウム形式の舞台
- ・舞台設備充実(音響反射板無)

◎ 第2小ホール: 可動席(200～300席)

平土間型

- ・平土間ホール
- ・可動観覧席

◎ リハーサル室: マルチスペース

平土間型

- ・大ホール主舞台同様の大きさ
- ・可動観覧席(200～300席)

◎ 多用途利用

展示だけでなく、多用途利用を想定

- ・展示(平面、立体、映像など)
- ・セミナー、ワークショップなど
- ・大道具、小道具など製作工房
- ・音楽、演劇利用

OR

◎ 展示専用

展示に関わる利用に特化

- ・展示(平面、立体、映像など)
- ・関連セミナー、ワークショップなど

* 第2小ホールに準じる機能を備えた「リハーサル室」を整備するという選択肢が検討された。

同義的な意味での検討が行なわれました。

*「固定席」を持つ小ホールを優先して計画した場合、「可動席」を持つ小ホールを別途計画するという選択肢が検討される